



ゴギヤ...







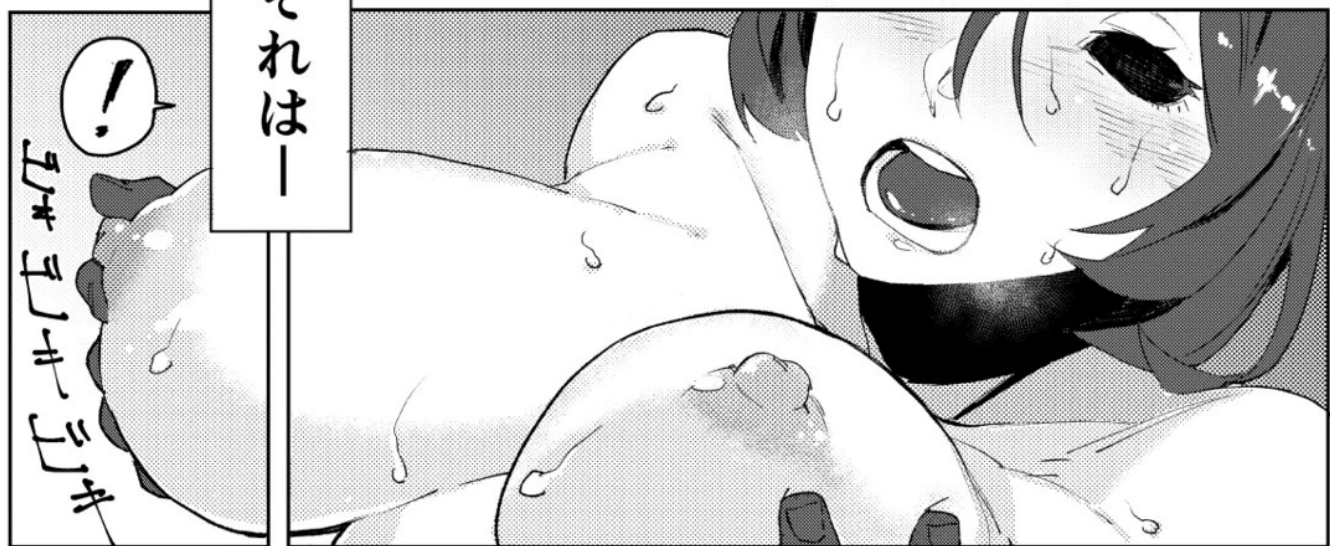
この男
名を御堂
神主の父を持つ
神職家の生まれの
者である



怪異あるところ
御堂あり

数多の
魍魅魍魎と
渡り合う
彼には

それを
可能にする
天賦の
才覚がある



それは――

!

ガキガキガキ







霊体を構成する
素子全てに
御堂の氣が伝わる

すなわち
全身がむき出しの
性感帯となる

股間から脳髓まで
凄まじい
快感が駆け上る



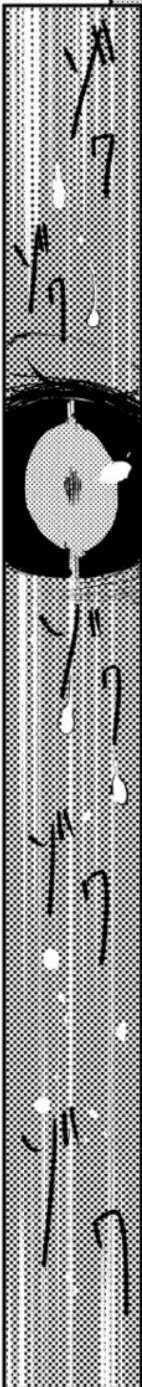
娘は生前
生娘であった



性交はおろか
自慰すら知らな
かった彼女は



もはや為すがままに
股ぐらからの快感に
吞まれる他なかった

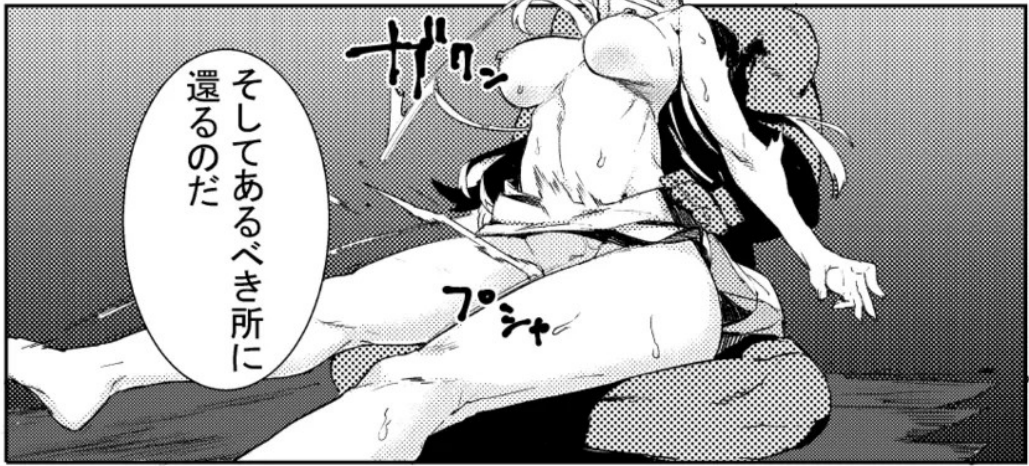


もう一度
生命の温もりを
思い出させて
やろう

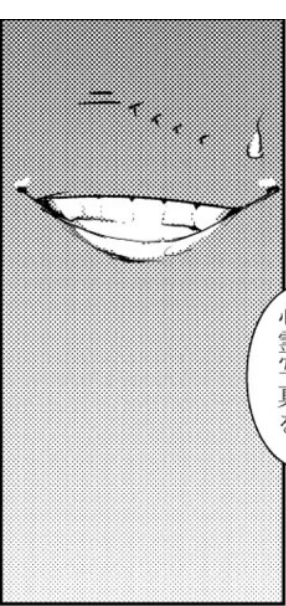
命を忘れて
呪いを振りまく
悲しい女よ



生の喜び
性の悦びを



そしてあるべき所に
還るのだ



本物の
心靈写真を…



へへ…
もう何が何だか
わかんないけど
せめて
写真は撮らせて
もらいますよ



ノ
シ
ヤ



写真…!
娘にとって
写真とは
ハレの日にとる
特別なもの

それよ
りによつて
秘所も露わに
初夜の様子を
丸写しにされて
いるのである



もはや羞恥の前に
殺意は霧散し
股ぐらを挿す剛直に
なすがまま
突き上げられるのみ
である



まさに衆目のもと
交合するが如き
辱めである



もうこの少女に
悪霊と呼ぶべき
様相は残されて
いなかった



呼び覚まされた
理性は羞恥を呼び

強烈な羞恥心は
更なる快感を
呼び覚ます



一人の女として
この快感の波に
呑まれるだけである



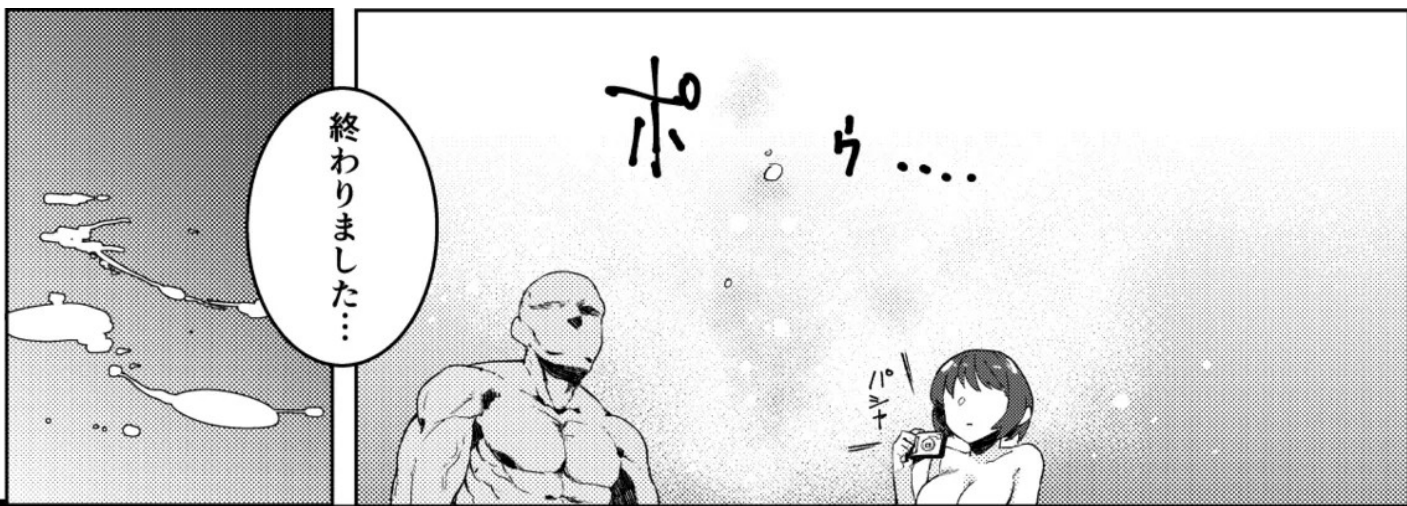
あ

あ…



あつ…





終わりました…

ホー…



会社のトイレで
致したりしたが
これはまた別のお話

なんか数日の間
身体が疼いて
仕方なく



その後、御堂と
名乗った男は
すぐに立ち去った

そして
私はというと



彼はどこかで
また怪異と
戦っている
のだろうか

あ、そうそう
持ち帰った写真は
見事にボツでした

フック

完.